

事務所主催第4回事務職員研修会(事務長研修会)

7月28日(月)14時30分より佐賀総合庁舎において、今年度第4回目の教育事務所主催「小中学校事務職員研修会」が開催されました。今回は熟練期(事務長対象)研修の位置づけで「事務長としての資質向上」のための講義並びに演習を受けました。

冒頭、東部教育事務所 野口所長の挨拶で、「事務室(事務職員)はコンプライアンスの砦であり、その感覚を職員室とも共有して欲しい。」との話があり、法令遵守は管理職事務長としての最優先課題であり、事務長会としてもその感性のレベルアップを図る取り組みが必要だと再認識しました。また、次の二点についてお願いがありました。一点目は、「学校集金のシステムを改善し、確立して欲しい。」二点目は、「事務長の人材育成、次の事務長を育てていただきたい。そして若年者から見て、事務長職が目指す職であって欲しい。」と仰ることでした。



一点目については、「教育職員の子どもと接する時間の確保」・「会計事務の透明化・明確化」・「保護者負担軽減」等の観点から、各支援室単位で市町教育委員会の方針や地域の実情等に配慮しながら進めています。事務長会では昨年度の調査研究部の研究を基に、今秋にも議題の一つとして議論する予定にしています。二点目については、任用一本化に伴う大きな変革期の入り口(真っ只中)にあり、今の事務長のあり方が大きく影響します。共同実施を如何にマネジメントして、組織として業務の効率化・適正化を実現し、各学校長の学校経営を支え、子どもたちの学ぶ環境を整えることができるのか。適正なリーダーシップを発揮できる事務長であることが求められています。このことについても事務長会として大いに議論し、事務長会の意志を統一し、対外的にもアピールしなければと考えているところです。

次に、県教職員課 徳永人事主幹より講義を受け、グループ討議や演習を行いました。管理職事務長導入から4年目、統括事務長導入から2年目となる今年度、新任事務長も10名誕生し、管理職としての研修の必要性を感じているところです。事務長・支援室長として、各学校長の学校経営ビジョンの具現化と事務職員個々人の自己目標達成

との適正化を図る手助けができていないか。管理職となった事務長は支援室内の事務職員に対して校長とは違った、校長からは見えない視点での支援が必要なことや、支援室内の事務職員の成長を念頭に常日頃から指導助言をすることなど、分かっている様で理解していない部分も多々あり、大変有意義な講義でした。

講義終了後、後半は事例を基に演習を行いました。

初めに、演習による回答を各人で導き出し、次に4人でのグループ討議をし相互の



回答を比較検討することにより、自分には無かった他者の意見・考え方を学びました。その後、徳永 人事主幹より補足説明があり質疑を行い、再度同じ演習課題に取り組み、最初とは違った解答・考え方を導き出しました。このような形で研修が進むにつれ、事例の捉え方・解釈の仕方に変化が現れ、各自バラバラだった考えが徐々に統一され洗練された回答となっていきました。事務長個人々の主観的な考えから事務長職としての客観的なものの捉え方を学んだことにより新たな気づきがあり、研修による効果を事務長全員が実感したところです。



真剣に演習に取り組む参加者 : グループ討議では直接助言を

~~~~~編集後記~~~~~

私たち事務長会では、本県学校教育の振興に寄与することを目標に、学校事務職員はどのようにあるべきか、どのような資質を持つべきかを念頭に活動をしています。今回の研修もその一環として、事務職員組織の長である事務長の管理職としての力量アップのための研修会でした。「これが管理職の研修だ」と参加者全員が実感しており、全員から今後もこのような研修を継続する要望が出ています。事務長全員の意識が日増しに向上していることを実感しています。

以下に研修後のアンケートによる感想の一部を掲載します。佐賀県公立小中学校事務長会 会長 古川 治

- ※大変有意義でした。新任の事務長には、同じ内容でいいので必ず実施してほしいと思いました。
- ※管理職となり、その責任を痛感しています。徳永 人事主幹の講話を聴き、非常に参考になりました。平日頃の支援室会議も、今日の研修スタンスを意識していかなければと思いました。
- ※具体的な演習で大変参考になりました。室員の力量を高めるため、活用していきたいと思います。
- ※今日の講義で、これまで悩んでいたところが解決したようです。大変参考になり、勉強になりました。
- ※的確な業務についての「手がかり」をありがとうございます。今後も継続して研修をお願いします。
- ※大変参考になりました。どういったことに注意を払い、如何に客観的に業務を遂行できるかを改めて考える機会となりました。ありがとうございました。
- ※管理職の仕事の大切さと難しさの一端を知ることができました。後輩を育てるために、常に意識して業務に取り組みたいと思います。